



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

講演会「安全・おいしい給食で、育て！長岡の子！・・・どうなる？学校給食無償化」

# 子どもの成長を保障する学校給食

8月23日、長岡で学校給食無償化を求める講演会が開かれました。

## 長岡市学務課の報告

「長岡の給食は地元食材の利用などでおいしい給食提供に努めている。自校調理方式が多いが共同調理所も7カ所ある。」

「市民の無償化要求の署名もあり、物価高対策で1億5000万円を予算化し、年度途中の値上げや質低下を招かない対策ができた。」

## 「隠れ教育費」研究の視点

千葉工業大学准教授の福嶋尚子さんは講演で、



8/23 講演する福嶋尚子さん

「私は『隠れ教育費』の研究をしている。学校給食費は重い。物価高は3食食べさせられない家庭を増やしている。『給食がなければ2食や1食しか食べさせられない家庭が増えている。』と述べられました。

## 弁当に表れる家庭状況

「完全給食の未提供の学校は公立中で264校10万1千人を超える。『弁当を持つてこれない家庭、栄養が偏った弁当、労働の合間に準備する保護者、就学援助でも給食が未実施の場合は補助されないなど問題が多い。』そして教職員の給食事務負担も大きいのです。」

## 権利保障型の無償給食を

「子どもたちが当たり前の学校生活を安心して送れる環境整備を進めること。学校でこそ生存権・成長発達権が満たされる必要がある。教育を受ける権利を保障するには国が無償化を進めるべきです。子ども・保護者・市民の声を行政に届けましょう。」

## 「医療請願署名」にご協力をお願いします

国による医療費削減政策が推し進められる中、診療報酬は上がらず、物価上昇に対応していません。

医療・介護従事者の賃金を他産業と同じように上げるとも難しく、人員不足にもつながっています。救急や入院を制限する病院が相次ぎ、開業医の閉院も起きています。お産ができる病院がない市町村も全国で1,042市町村を超えています。

医療機関の倒産、廃業もすみ、深刻な経営危機に陥っています。住民の医療を受ける権利が脅かされています。

日本医師会、6病院団体(日本病院会 全日本病院協会・日本医療法人協会・日本精神科病院協会・日本慢性期医療協会・全国自治体病院協議会)は、「このままではある日突然病院がなくなり、崩壊寸前と警鐘

## 遠藤れい子の笑顔でファイト

会は、「このままではある日突然病院がなくなり、崩壊寸前と警鐘

# 医療崩壊を止めよう！ 医療機関の維持存続へ支援を！

を鳴らしました。

地域住民が必要な時に必要な医療を受けることは、憲法25条で保障された権利です。

人権としての医療へのアクセス権の保障と、医療機関の維持存続のための思い切った財政措置が必要です。

国は、地域医療を守る責任があります。

地域で暮らす誰もが等しく安心して、医療を受けることができるよう医療機関の維持存続への支援を求めます。

※なががおか医療生協などが参加する民医連や社保協で取り組んでいます。遠藤れい子事務所でも署名のお願いをしています。

## まちの医療機関がなくなる？

住民のいのちと健康がまもられない



全国で病院閉鎖による医療空白自治体が増加